

## 事業群評価調書(令和3年度実施)

基本戦略名	1-1 若者の県内定着、地域で活躍する人材の育成を図る	事業群主管所属・課(室)長名	総務部 学事振興課	門池 好晃
施策名	2 大学と連携した地域が求める人材の育成と地元定着の推進	事業群関係課(室)		
事業群名	③ 魅力ある・選ばれる県立大学づくり	令和2年度事業費(千円)	※下記「2. 令和2年度取組実績」の事業費(R2実績)の合計額	2,678,200

### 1. 計画等概要

(長崎県総合計画テュンジ&チャレツジ2025 本文)		(取組項目)								
<p>県立大学では、大学が持つ強みの強化や教育環境の整備・充実等により、魅力ある、選ばれる大学を目指します。また、産業界が求める人材を育成するとともに、地域に根ざした実践的な教育等を通じて、若者の地元定着を推進します。</p>		<p>i) 大学の強みである、全国初の情報セキュリティ学科の定員増などによる情報系人材の育成の強化や海外ビジネス研修や海外語学研修等によるグローバル化に対応した人材の育成 ii) 長期インターンシップや本県特有の「しま」でのフィールドワークなど地域に根ざした実践的な教育の実施 iii) 佐世保校建替えなど教育環境の整備・充実</p>								
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)	
	県立大学の県内就職率 (新規学卒者の就職者に対する県内就職者の割合)	目標値①	/	37.4%	38.9%	40.4%	41.9%	44.0%		44.0% (R7)
		実績値②	34.4% (H30)	/	/	/	/	/		進捗状況
達成率②/①		/	/	/	/	/	/	—		
									<p>県立大学では、県派遣キャリアコーディネーターの活用やオンラインによる県内企業情報提供などを積極的に実施し、令和2年度の県内生の県内就職率は57.1%(前年度比+6.6ポイント)と増加したが、就職希望者に占める県内生の割合が44.7%(前年度比△5.8ポイント)と低かったことから、県内就職率は前年度より0.9ポイントの微増にとどまった。 情報セキュリティ産学共同研究センター(仮称)については、令和5年度の供用開始を目指し整備を進めており、令和2年度は、基本・実施設計が完了した。令和2年度は、センター運用開始前であるが、誘致企業との連携などにより共同研究数は増加している。</p>	

### 2. 令和2年度取組実績(令和3年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)				
				R元実績	うち一般財源	人件費(参考)		主な指標	R元目標	R元実績	達成率	令和2年度事業の成果等
				R2実績					R2目標	R2実績		
				R3計画	R3目標	R3実績						
事業実施の根拠法令条項			事業対象									
事業期間	法令による事業実施の義務付け	県の裁量の余地がない事業	他の評価対象事業(公共、研究等)									
所管課(室)名												
取組項目 ii iii	○	1	運営費交付金	1,555,916	1,555,916	2,386	県立大学を設置・管理する公立大学法人の運営費	【活動指標】	交付	交付	—	●事業の成果 ・新型コロナウイルス感染拡大の就職活動への影響がみられたものの、県派遣のキャリアコーディネーターの活用やWebを活用した就職支援などにより県内就職率は、29.7%と前年度比0.9ポイント増加したが目標には届いていない。一方で、高大接続担当学長補佐を中心に県内高校訪問を行い、入学者における県内高校生割合は、昨年度に引き続き5割を超えた。
				1,745,795	1,726,149	2,347		【成果指標】	44	28.8	65%	
				1,831,828	1,831,828	2,356		県立大学の県内就職率(%)	44	29.7	67%	
			H17-	—	—	—	37.4	/	/			
			学事振興課	—	—	—	長崎県公立大学法人					
取組項目 iii	○	2	県立大学佐世保校建設整備事業費	625,195	5,595	2,386	学部学科再編を踏まえた新たな機能を有する校舎等を整備するための佐世保校の建替えについて、工事の進捗を図った。	【活動指標】	10	10	100%	●事業の成果 ・平成30年度から建設工事に着手し、令和2年度は、食堂棟(1期)、管理棟が完成した。併せて武道場の解体、学生会館の改修等を実施した。
				881,459	10,259	2,347		工事進捗のための関係者との会議開催数(回)	10	10	100%	
				1,028,490	6,890	2,356		10	/	/		
			H28-R6	—	—	—	【成果指標】	5	5	100%		
			学事振興課	—	—	—	長崎県公立大学法人	進捗率(竣工床面積/全体床面積)(%)	32	32	100%	
								32	/	/		

取組項目 iii	○	3	県立大学情報セキュリティ産学共同研究センター(仮称)整備事業	50,946	73	2,347	大学の特色強化と企業との連携推進を図るため、情報セキュリティ産学共同研究センター(仮称)の整備について、基本設計・実施設計を実施した。	【活動指標】				●事業の成果 ・当センターの整備のための設計に着手し、令和3年度からの工事着手に向けて、基本設計・実施設計が完了した。
				1,070,083	283	2,356		R2:設計業務の発注	着手(設計)	着手	—	
			R2-4	—				【成果指標】				
			学事振興課	—	—	—		R2:工事発注(R3)のための設計の完成	完成(設計)	完成	—	
							長崎県公立大学法人	R3:進捗率(支出額/契約額)(%)	60			

### 3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i	大学の強みである、全国初の情報セキュリティ学科の定員増などによる情報系人材の育成の強化や海外ビジネス研修や海外語学研修等によるグローバル化に対応した人材の育成	<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>全国初の情報セキュリティ学科や国際経営学科などにおいて、セキュリティに関する高い知識や技術や英語スキルを取得した学生が卒業しており、これらの学科での特色ある教育が大学全体の魅力向上につながっている。一方で、スキル等を身につけた学生の県内定着の促進が一つの課題であり、学生のスキルを活かせる企業情報の提供などを図っていく必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>教育課程検討PTを設置し、専門科目の追加や分野変更による教育の体系化を図るなど、令和3年度からカリキュラムの見直し・充実を行っており、今後も情報系やグローバル化に対応した人材の育成を推進していくことで大学のさらなる魅力向上につなげていく。また、県内定着率の向上に向けては、企業情報の掘り起こしを行いながら、企業と学生の交流の拡大を行っていく。</p>
ii	長期インターンシップや本県特有の「しま」でのフィールドワークなど地域に根ざした実践的な教育の実施	<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>県立大学では、就職ガイダンスによる基本的な知識の習得、就職課での進路相談や企業見学会、就職実践セミナーの開催など学生へのきめ細かな就職支援のほか、教育面においても、地域をフィールドとした実践的な教育を実施することで、社会人基礎力の育成を行うとともに、地元企業を知る機会となっている。令和2年度はコロナの影響があったものの、長崎や県内企業を知ることは、学生が県内就職を考える大きな機会となることから、今後も社会が求める人材の育成や県内企業を知る機会の充実を図る必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>令和3年度からのカリキュラム見直しにより、長崎リテラシー(長崎に関連した科目)の充実や、実践経済学科における企業インターンシップの配当年次を2年次に前倒するなどの改善をおこなっており、今後も、インターンシップの受入企業の開拓やもカリキュラムの充実を行うことで、県内企業を知る機会の充実を図っていく。</p>
iii	佐世保校建替えなど教育環境の整備・充実	<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>少子化の進展に伴い大学間の競争と淘汰が激しさを増していく中で、学生に選ばれ、地域に開かれた魅力ある大学を目指し、キャンパス整備を行うこととしており、佐世保校の建替え事業を進めている。現在の施設は老朽化、狭あいといった問題点を抱え、大学が目指す取組の課題となっていることから、課題解決型の授業など実践的な教育などに対応した新たな機能を有する施設整備を着実に進め、教育環境面での充実強化、魅力向上を図る必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>令和6年度の完成に向けて、着実に進捗を図っていく。</p>

### 4. 令和3年度見直し内容及び令和4年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	令和3年度事業の実施にあたり見直した内容		令和4年度事業の実施に向けた方向性		
			事務事業名	事業期間	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			所管課(室)名	※令和3年度の新たな取組は「R3新規」等と、見直しが無い場合は「—」と記載			
取組項目 ii iii	○	1	運営費交付金	令和3年度においては、地方独立行政法人法に基づき交付している運営交付金を効率的に執行するとともに、法人の第3期中期に着実に取り組んでいく。また、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、授業料減免を支援するとともに、県内就職率向上に向けて、さらに取組を推進していく。 また、実践的教育については、今後も取組を継続していくが、令和3年度からのカリキュラムの見直しによる授業内容の充実により、県内企業への理解を深めるほか、県内企業の情報提供の充実や県内就職率の高い県内生の進学促進を図っていく。	②	学生と県内企業との交流の機会をさらに増やしていくとともに、積極的な高校訪問などにより、令和2年度入学生において初めて県内生の割合が5割を超えるなど成果が出てきていることから、今後も県内生の進学促進のための取組を推進していく。	改善
			H17- 学事振興課				

取組 項目 iii	○	2	県立大学佐世保校建設 整備事業費	—	②	平成30年度より、建設工事に着手しているが、現地における授業と平行した順次建替えということもあり、安全確保や授業への影響の軽減、効率性やコスト面にも視点を置きながら事業進捗を図っていく。また、令和6年度の完成に向けて、工事の進捗管理を徹底していく。	現状維持
			H28-R6				
			学事振興課				
取組 項目 iii	○	3	県立大学情報セキュリ ティ産学共同研究セン ター(仮称)整備事業	—	②	令和3年度より工事に着手しており、令和5年度の供用開始に向けて事業進捗を図っていく。また、センターの運用面についても、関係機関とも協議を行いながら検討を進めていく。	現状維持
			R2-4				
			学事振興課				

注:「2. 令和2年度取組実績」に記載している事業のうち、令和2年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

#### 【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点